
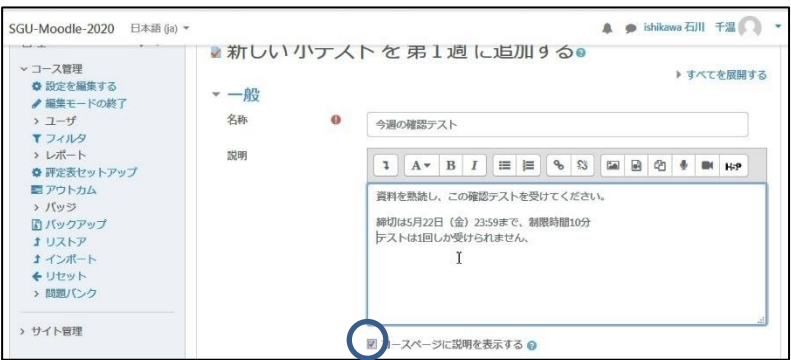



2020FD 研究会 教員向け Moodle 小テストの利用方法

全体の流れ

- ① コース内の希望のブロック（第〇週）内に小テストモジュール（箱）設置
- ② 小テスト（箱）の設定（公開締切日時、点数、合格点等の設定）
- ③ 小テスト（箱）内に小設問を追加
- ④ 小設問を問題バンク（自分用アーカイブ）に登録
- ⑤ 問題バンク内の小設問を複製し、内容を更新、問題バンクに別名で蓄積
- ⑥ 小テスト（箱）内に問題バンクから必要な小設問を追加し、小テスト（箱）内に複数設問設置
- ⑦ 小テスト（箱）の合計点数などの調整
- ⑧ プレビューなどで学生への見え方確認
- ⑨ 編集解除、あとは公開日時、締切後の結果確認

1. 小テストモジュール（箱）の設置と設定

<p>①コース内のブロック（第〇週）を選び、「活動またはリソースを追加する」で「小テスト」を選んで、「追加」をクリックする。</p>	
<p>②「名称」を入力し、概要に実施時刻、締切時刻、点数、トライアル回数などを記述する。「コースページに説明を表示する」をチェックする。</p>	
<p>③「タイミング」で、「小テスト公開日時」「小テスト終了日時」の右横の<input type="checkbox"/>YES にチェックを入れ、日時を設定する。制限時間も同様。</p> <p>「制限時間」を経過した場合 「開いている受験は送信されます」 にしておく。その他の選択肢「提出猶予を与える」も可能。</p>	

④「評点」では、「合格点」、「受験回数」を設定。

「レイアウト」では、「なし、すべての問題を1ページに表示する」

「問題の挙動」では、
「問題内部をシャッフル」：用意した設問を人によって順番を変えたり、選択肢の順番を変える

「遅延フィードバック」
基本的に回答提出後にフィードバックを返す

⑤「レビューオプション」では

「学生の受験最中」に表示する内容
「学生の受験直後（2分）」に表示する内容
「学生の受験後、小テストクローズされるまで」
に表示する内容
「小テストクローズ後の期限後」なら表示される
内容

例
受験中は一切情報与えない
回答送信後直ちに答えの正誤、点数、特定フィードバック（設問毎の選択肢によるFB）、
小テスト期間終了後は正解、全般フィードバック（結果点数に対するフィードバック）
を表示するなど制御することも可能

⑥「全体フィードバック」では、

最初の「評点境界」 100%
↑ ↓ この範囲内の点数に対するコメント
次の「評点境界」 60%
↓ これ未満の点数に対するコメント

さらに追加することも可能
「さらに3個のフィードバックを追加する」



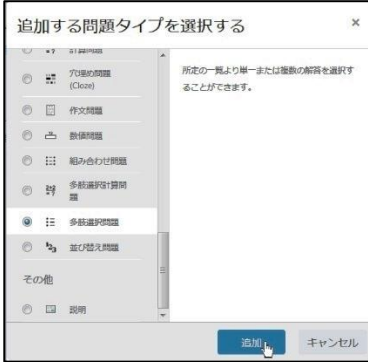



⑦「保存して表示する」をクリック

⑧この時点では小テスト（箱）内に設問は用意されていないので、右図のようになる。

設定内容（日時等）を確認する。

⑨左の「管理」ウィンドウの
「小テストを編集する」
または、右図の
「小テストを編集する」
をクリック

2. 小テスト（箱）内に小設問の追加

<p>①現時点で設問はない。 右図の「追加」をクリックする。</p>	
<p>②初めて小テストの設問を作る場合は「新しい問題」、既に小設問の問題集「問題バンク」に設問がある場合には「問題バンク」からを選ぶ。</p> <p>「ランダム問題」は「問題バンク」ある設問をアトランダムに抽出し小テストを構成できる。</p>	
<p>③「追加する問題タイプを選択する」から 多肢選択問題（一番手っ取り早い）←まずはこれ 記述問題（これもお勧め）</p> <p>「数値問題」「計算問題」「穴埋め問題」などは案外設定が難しい（思い通りに表示され難い）。</p>	
<p>④「カテゴリ」は設問の保存先を示し、「今週の確認テスト」の配下（この小テスト内） ↓ 「このコース」の配下（このコース内で利用可能） ↓ 「moodle 全体」の配下（他授業と共有も可）など選ぶことができる。通常は「コース」がベター。今回は上2つのどちらでも</p> <p>「問題名」はわかりやすい名称、通し番号をつける。 「問題テキスト」は問題文を書く。</p>	
<p>⑤多肢選択問題なので</p> <p>「複数回答を許可」←点数配分がやや面倒 「単一回答のみ」←明解</p>	
<p>⑥「選択肢に番号付け」 どれでも可。「番号付けなし」がお勧め</p>	

⑦「答え」には、

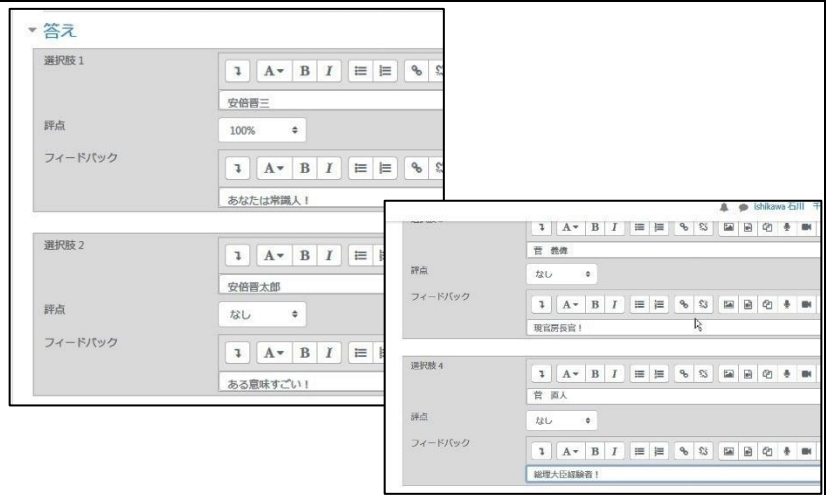
「選択肢1」を必ず正解にしておく。
選択肢の単語（文章）を記述後、「評点」を100%に設定する。

「フィードバック」は無くてもいいが、これを書くことによって、これだけで「双方向性」が出るので、できれば書く。

「選択肢2以下」は、不正解の単語、文章を書き、「評点」は「なし」にする。フィードバックなどもできれば書く。

選択肢は何個でも追加可能だが、デフォルトでは4個。

最後に「変更を保存」をクリック



⑧完了すると、小テスト（箱）内に設問が1個追加された。

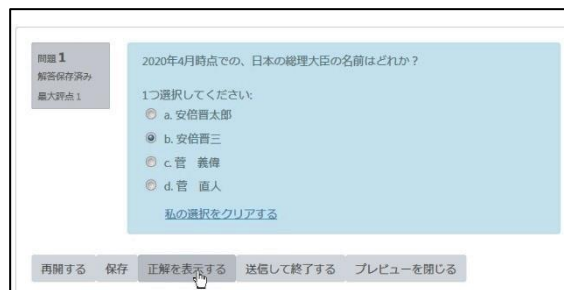
同時に問題バンクにも同じ設問が保存されている。

試しに虫眼鏡アイコンをクリックするとプレビューが表示される。



学生からの見え方が表示される。

「正解を表示する」をクリックして、正解に間違いがないか確認する。



「プレビューを閉じる」をクリック。

3. 小テスト（箱）のプレビュー

①まだ設問が1題しかないが、小テストを実行したときの学生からの見え方を確認する。

画面左の「管理」ウィンドウの「プレビュー」を選ぶ。



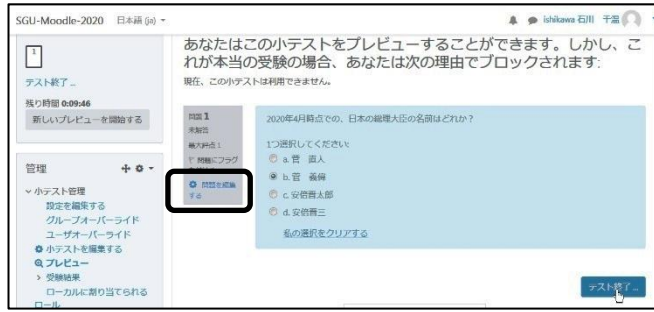
②表示される内容に間違いがないかを確認し、「受験を開始する」をクリックする。



③設問は1題なので、そのページには1題のみが表示される。

右図の「問題を編集する」ボタンは実際には学生からは見えない。

選択肢のラジオボタンをチェックして、「テスト終了」をクリックする。



④「すべてを送信して終了する」ボタンが2回出るの、それらをクリックする。



⑤受験終了後の見え方が表示される。

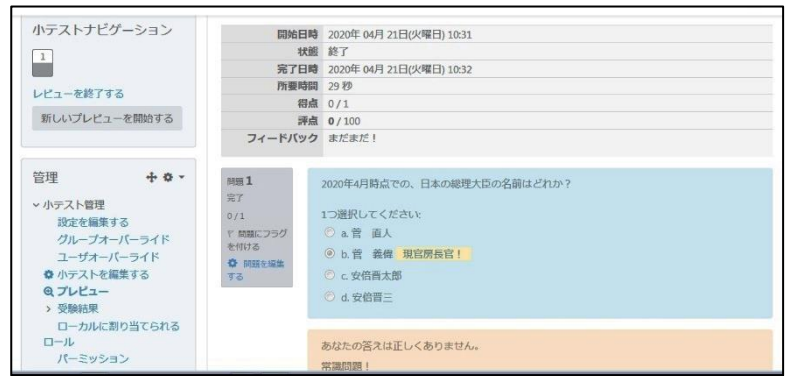
得点、得点に対する全体フィードバック

個別の回答に対するフィードバック
(正解の場合、間違いの場合など)

この小設問に対するフィードバック

がどのように表示されるかを確認する。

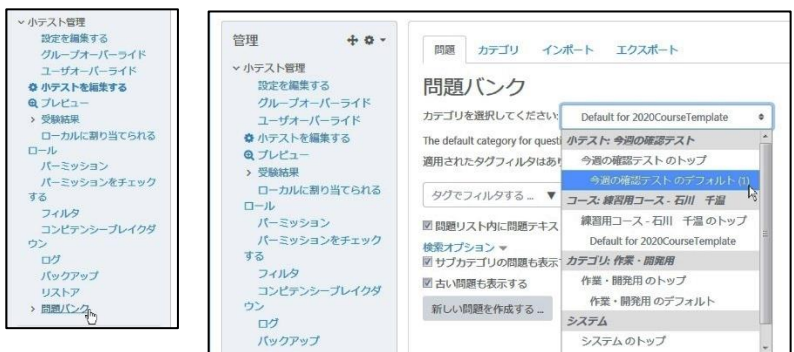
現時点では1問しかないので、この後、問題バンクに小設問をどんどん追加し、小テスト(箱)を構成する。



4. 問題バンク内に小設問を複製し、問題集を作る

①左ウィンドウの「管理」から「問題バンク」をクリックする。

②「問題バンク」が開くと、「カテゴリを選択してください」で、最初に作った設問のカテゴリ(右図では「今週の確認テスト」)を選ぶ。
もしくは、前回の問題バンクで保存したカテゴリ(コース)を適切に選ぶ。



③選んだカテゴリに最初に作った設問が見えるはず。見えない場合は別なカテゴリを選ぶ。



④問題バンクにある設問のうち、設問名の右横にある「編集▼」をクリックし、「複製」を選ぶ。



「新しい問題を作成する」で新たに作ってもよいが、同じ形式（多肢選択問題）であれば、手っ取り早く複製したほうが楽。

④「カテゴリ」は前のカテゴリと同じにし、「問題名」は前回とは必ず異なるものにする。また、通し番号をつけると良い。



問題文、選択肢を変える。

「変更を保存する」をクリックする。

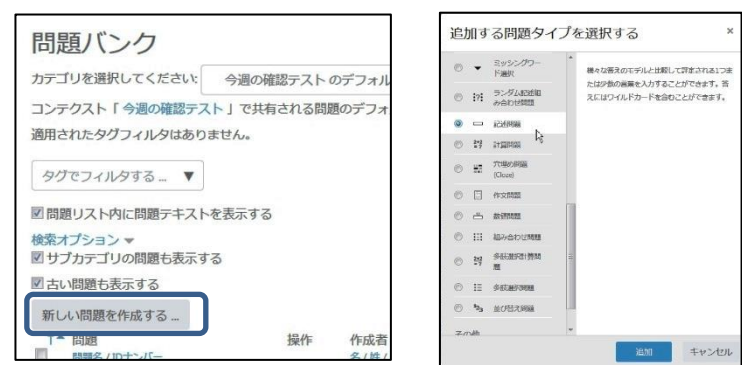
⑤問題バンクに新たに設問が追加された。

以下、同様の方法（複製→設問名変更→問題文編集→選択肢編集→保存）で、同形式（今回は多肢選択問題）の設問が問題バンクに蓄積される。

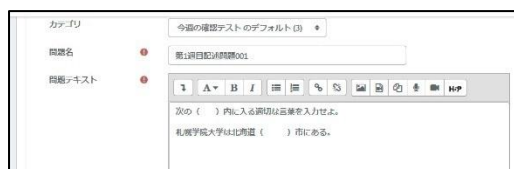


5. 問題バンク内に記述式問題を蓄積する

①「問題バンク」の状態で、今度は「新しい問題を作成する」をクリックし、「追加する問題タイプを選択する」で「記述問題」を選び、「追加」をクリックする。



②「カテゴリ」は前回と同じものを選び、「問題名」を新たに付ける（わかりやすく通し番号もつける）。



「問題テキスト」には右図のように（ ）で書くと楽。

③「答え1」に正解を書くようにする。
正解の文字列を記入し「評点」を100%にする。
「フィードバック」も書くと良い。

他の解答に対する部分点を与えたい場合は、右図のように「答え2」を利用する。その場合、「評点」を50%などにしておく。

正解をひとつに限定する場合は、「答え2」以降は書く必要はないが、予想される間違いなどは評点なしでフィードバックだけ書くとよい。



④「変更を保存する」で「問題バンク」の同じカテゴリに記述式問題が追加される。

記述式問題についても、以下、同様の方法（複製→設問名変更→問題文編集→記述式問題編集→保存）で、同形式（今回は記述式問題）の設問が問題バンクに蓄積される。



6. 問題バンクから小テスト（箱）内に問題を追加し小テストを完成させる

①「問題バンク」にある程度、小設問が蓄積されたら、学生へ提示する小テストを完成させます。

左のウィンドウの「管理」から「小テストを編集する」を選ぶ。



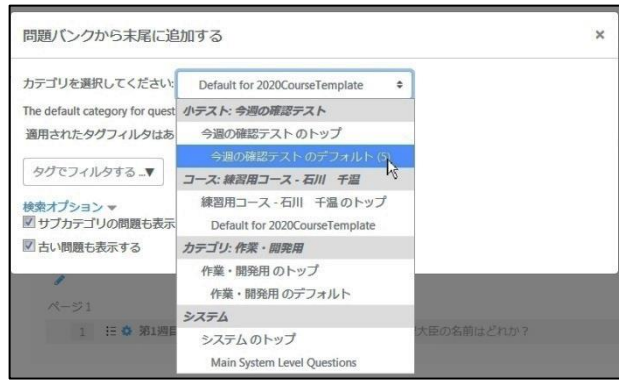
②最初の段階では1問しか設問がありませんでした。

ここで右側の「追加▼」をクリックする。

「問題バンクから」を選ぶ。

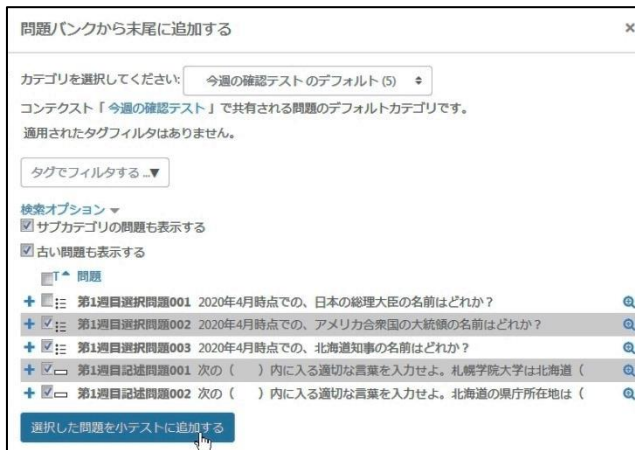


③「問題バンクから末尾に追加する」で、カテゴリを前回保存した「小テスト～」カテゴリ、または「コース～」カテゴリにする。



④画面下に「問題バンク」に保存された各設問リストが表示されるので、その中で使いたい設問リストの左側の□にチェックを入れる。複数選択可。

「選択した問題を小テストに追加する」をクリックする。



⑤小テスト（箱）の中に設問が追加された。

右の状態は 1 ページ内に全て表示される設定となっている。

また、小テスト（箱）の設定で問題順はランダムに表示（□シャッフル）されるので、並びは、今回は関係ない。

問題順を表示通りにしたい場合は、右図でドラッグして並びを変える。その場合は、□シャッフルのチェックをはずすこと。



⑥合計点数の編集を行う。

「最大評点」欄を 5 にして、「保存」をクリック。

今回は各設問を 1 点として 5 問なので 5 点を最大評点とする。



⑦左ウィンドウの「小テスト管理」画面の「プレビュー」で全体を確認する。

「受験を開始する」をクリック。



⑧「テスト終了」ボタンで、「すべてを送信して終了する」で結果を確認する。



得点の微調整などをする。

右図は記述式問題で、漢字で正解の場合は100%、ひらがな入力の場合は50%に設定したが、点数を見ると1/1点となっている。



⑨「問題を編集する」をクリックして解答の評点を確かめる。

この設問がもともと1点満点だったため、50%でも0.5点となり四捨五入で1点となる。

→このような設問を2点満点に変更する

⑩左の「管理」の「小テストを編集する」をクリックする。



⑪小テストの設問一覧が表示されるので、該当設問の右側の点数欄の数字を1→2点に書き換え、右上の最大評点を5→6点に修正して「保存」をクリックする。

このような中間点を設ける場合には各設問を予め2点などにしておいた方が得策。

もう一度、プレビューして、ひらがな入力（部分点）の場合の点数を確認する。

